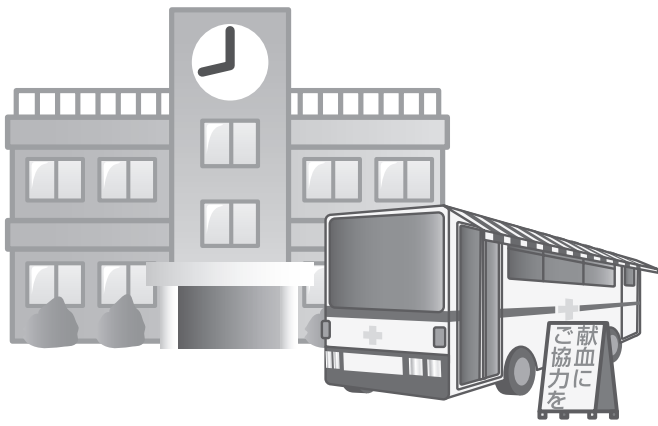


れたことから、本年度より茨城県教育委員会を通じて、厚生労働省で作成された小学生を対象としたリーフレットや中学生を対象とした献血への理解を促すポスターを配布させていただいている状況でございます。

今後は、学校や関係機関と連携を図りながら、茨城県赤十字血液センターで行われている若年層向けの「献血セミナー」などの活用について検討していくとともに、献血の普及啓発に取り組んでまいりたいと考えております。

(教育次長)



議席3番

枝 史子 議員



### 町立図書館について

**Q** 町立図書館を望む声が上がっているが、町民に愛される図書館をつくるには、行政と町民の間でのきめ細やかな話し合いが必要であると考えます。これについて町の見解を聞きたい。

**A** 議員ご指摘の通りだと思います。長野県小布施町でも、設置のために委員会をつくり、館長を決めてから、設計・建設するなど、住民の皆さんが使いやすい図書館を建設し喜ばれております。当町でも、私が町長でいるならば、そのように進めたいと思っております。町がデザイン優先で勝手に図書館を作ることはありません。

補足ですが、建築家隈研吾先生

の作品が当町に多いものですから、他の市町村の方や、町民の方でも、維持費がかかるのではないかと、建築家の作品は建設費も高いのではないかと、考えている方も多いと思います。当町では、費用対効果を一番に考えているのと、隈研吾先生が境町を気にかけて下さっていることから、設計費も安く、建築後の維持コストも他の先生の施設とは比べ物にならないほど、かかっておりません。実際の駅の駅や芋カフェ、モンテネグロ会館など建設後、補修をしたことはありません。

また、図書館は必要な施設だと認識しておりますが、優先順位としては、給食センターが老朽化しているのです、こちらをまず優先課題として取り組みたいと考えております。今までの境町モデルによる公共施設の建設は、収益物件の設置であり、そのまま町の負担となる公共施設の設置は、今ある公共施設の見直しや修理後と考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

(町長)

議席1番

佐怒賀 康輔 議員



### 境町の公共交通の今後について

**Q** 東京行き高速バスについて、現在の利用者数や今後の取組について伺いたい。

**A** 東京行き高速バスの利用者数は、令和6年2月までの合計で、35、123名で、令和4年の同期と比較して11、926名増加しており、町内外における路線の認知度向上により着実に利用者が増加しております。

今後は、アーバンスポーツパークや隈研吾氏設計の施設、グランピング施設等を組み込んだパッケージプランを作成するなど、利用者増加に向けた取組を実施してまいります。

また、境町高速バスターミナル